

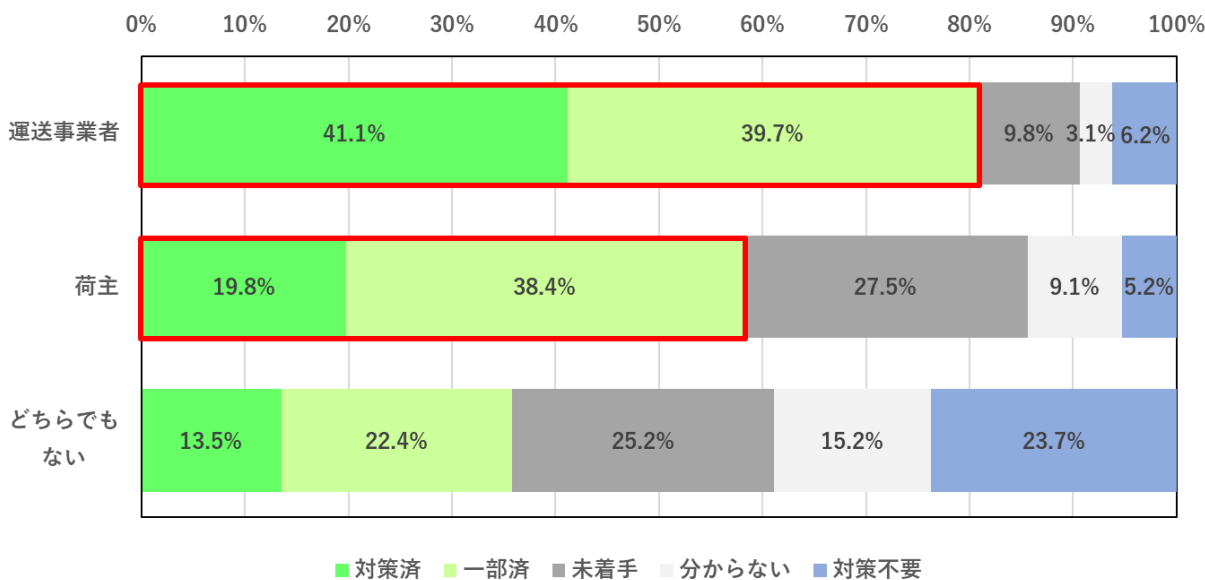


「物流の2024年問題」に対する中小企業の動向 (商工中金景況調査 2024年2月調査 トピックス分)

商工中金は概ね四半期に一度、中小企業の景況感をはじめとする実態把握のため、景況調査を実施しています。今般、2024年2月調査のうち、毎回内容を変えている質問項目（トピックス調査分）の結果を公表しました。

<事業類型別・「物流の2024年問題」に対するリスクの認識・対策状況>

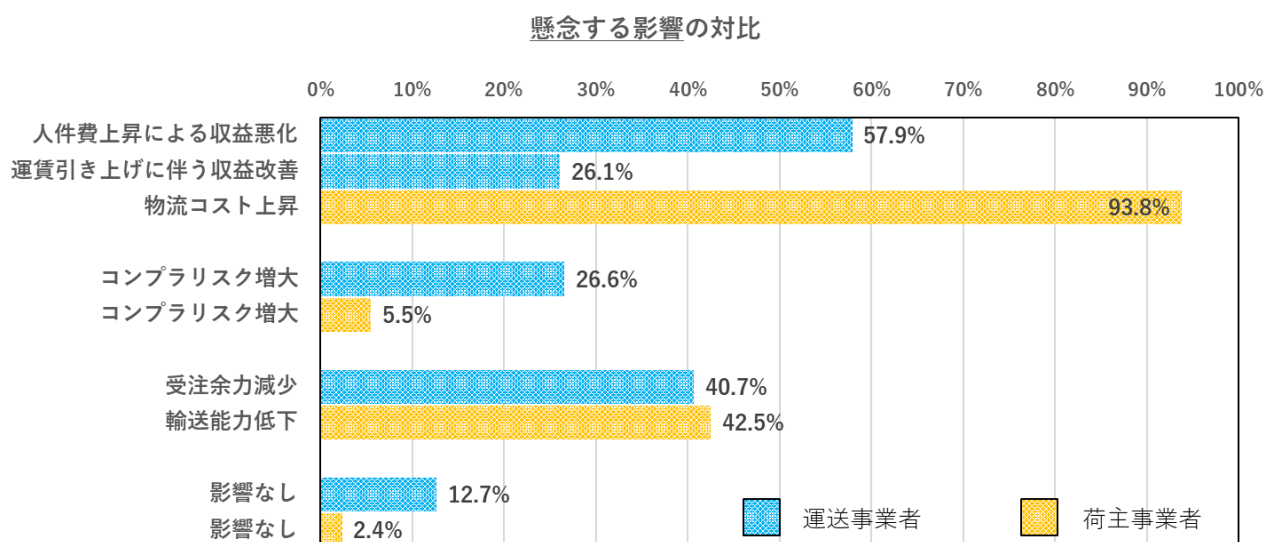
「物流の2024年問題」に対するリスクの認識・対策状況をトラック運送事業者と荷主で比較しますと、トラック運送事業者は約8割が対策に着手している一方、荷主事業者は「事業リスクを認識しているものの、対策には未着手」が約3割を占め、両者の対策状況には明確な差が見られました。



< 運送事業者と荷主事業者の懸念する「物流の2024年問題」の影響 >

「物流の2024年問題」によって受けることが予想される影響については、ほとんどの荷主事業者が「物流コスト上昇」を懸念している一方で、トラック運送事業者は「運賃引き上げに伴う収益改善」を「人件費上昇による収益悪化」が大きく上回りました。

またコンプライアンスリスクについて、荷主事業者はトラック運送事業者と比べても影響を懸念している割合が少なく、荷主側の危機感の醸成がまだ進んでいない可能性があることがわかりました。



※本編資料は[こちら](#)をご覧ください。